

G6閣僚会合等の結果概要

I. G6高級事務レベル会合

1. 日時・場所:6月27日(火) 14:20~17:50 於:豪州代表部
2. 我が国からの出席者:
村上特別補佐官、吉村国際部長、小川通商機構部長、藤崎寿府代大使 ほか
3. 概要:
 - (1) G6でブレークスルーが得られなければ全体でブレークスルーは得られないとの点で見解が一致。
 - (2) 互いの立場の違いは引き続き大きいという認識の下で、閣僚会合において、農業の市場アクセス、農業の国内支持、NAMAの野心の水準とバランスについて議論することとなった。

II. G6閣僚会合

1. 時間・場所: 6月29日(木) 16:00~19:00、21:30~23:00 於:米国代表部
2. 出席者:

我が国	中川農林水産大臣、二階経済産業大臣、村上特別補佐官、吉村国際部長、北村通商政策局長、小川通商機構部長、藤崎寿府代大使、近藤国際貿易・経済担当大使
米国	シュワブ通商代表、ジョハンス農務長官 ほか
EU	マンデルソン貿易委員、フィッシャー・ボエル農業委員 ほか
ブラジル	アモリム外務大臣 ほか
インド	ナート商工大臣 ほか
豪州	ヴェイル外務貿易大臣 ほか ラミーWTO事務局長
3. 概要
 - (1) 農業の市場アクセス、農業の国内支持、NAMAの野心の水準とバランス等について議論が行われたが、G6 各国間の見解の隔たりは依然として大きいという状況。
 - (2) 中川大臣からは、農業の3分野間、先進国と途上国の間のバランスが必要である旨、開発ラウンドであり、どうすれば途上国にとって真の利益となるかを考える必要がある旨、攻める側、輸出国側が柔軟性を示すべき旨発言。
 - (3) 30日(金)午後、再度G6閣僚会合を開催することとなった。